

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	水産業	コード	04-01-03	作成者	役職	日生総合支所産業建設課・課長
				氏名	電話	竹林 幸一 72-1259

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市内の漁業(日生町漁業協同組合119経営体・伊里漁業協同組合25経営体)や関連する観光産業等の振興と漁業従事者の生活の安定を図ると共に新鮮な水産物を供給する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	漁業生産の基盤である沿岸漁業の整備開発を図るため、藻場・干潟の造成及び魚礁の設置等を行う。また、瀬戸内海沿岸の関係漁協との連携による資源管理型漁業の推進や、種苗放流の促進など栽培漁業の効果的な推進に努めるほか、多様化する消費者ニーズを踏まえ、市場機能の整備を含めた多様で高度な流通体系づくりを促進すると共に、養殖カキやサワラなどのブランド化に取り組み安定的な生産の推進を図る。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 漁業環境の回復・改善 資源管理型漁業の推進 栽培漁業・養殖漁業の振興 担い手の確保・育成 観光漁業の推進 環境の整備 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位	
			H17		H18		H19			
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 水産基盤整備事業	B	東備地区広域漁場整備事業負担金	ソフト事業	34,800		12,600				
		漁業振興特別対策事業	ソフト事業	6,270		4,062				
		県等への要望事務	ソフト事業	200	5,480	106	6,536			
		東部地区小型船舶安全協会負担金	ソフト事業	50		50				
		東備水産振興協議会負担金	ソフト事業	100		100				
		全国漁港漁場協会負担金	ソフト事業	19		28				
		漁場環境保全事業支援事務	ソフト事業			0				
2 水産資源回復事業	B	水産資源の維持管理支援事務	ソフト事業			0	976			
		県栽培漁業負担金	ソフト事業	1,157		1,016	752			
3 栽培・養殖事業	C	栽培漁業・養殖漁業の支援事務	ソフト事業		1,359	0				
		かき共済保険補助金	ソフト事業	265						
4 漁業経営担い手対策事業	C	漁船保険補助金	ソフト事業	1,614	1,359	1,589				
		漁業災害対策資金利子補給補助金	ソフト事業	323		278	924			
		漁業近代化資金利子補給金	ソフト事業			28				
5 漁村地域活性化事業	B	サンパースフェスティバル	ソフト事業	3,969	2,985	3,400	4,140			
		都市漁村交流支援事務	ソフト事業			0				
6 水産振興施設管理運営事業	B	多目的集会施設管理運営事業	維持管理	0	415	0	132			
7 環境整備事業	C	県等への要望事務	ソフト事業	0	631	0	812			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	60,996	37,529	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

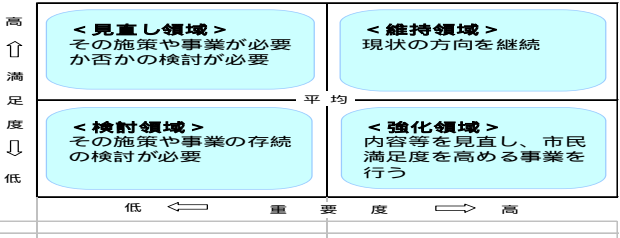
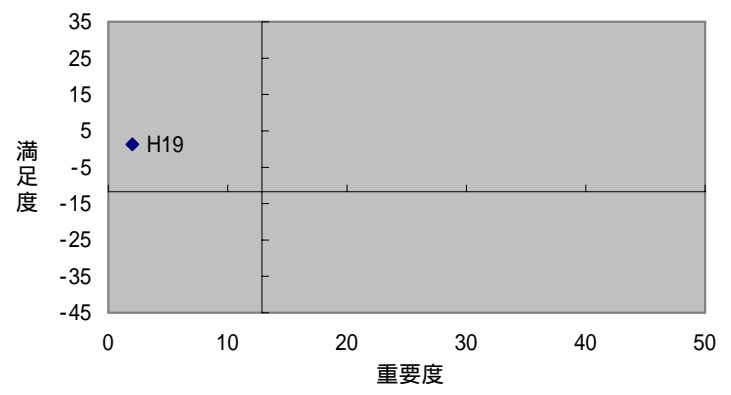
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
岡山県	漁港整備事業	大多府漁港、穂浪漁港
岡山県	東備港整備事業	日生町漁協は東備港日生港区内に位置する

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	水産基盤整備事業において、本市で実施している県事業(東備地区広域漁場整備事業)が、前年に比べ削減された。	3	水産基盤整備事業の指標がさがっている
2 事業構成の適当性	4	地域の特性を活かし消費者ニーズに沿った漁業施策である。	4	地域特性に沿った事業実施である
3 施策の有効性	4	市内漁業の振興と漁業従事者の生活の安定が図られた。	4	かきの販売を県漁連に委託した為収入が安定した。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	東備地区広域漁場整備事業の早期完成を目指し、東備地区海洋牧場へと展開していく。また、かき養殖等における流通システムと食の安全・安心を確立し、消費の拡大を進める。		東備地区広域漁場整備事業の進捗に併せて海洋牧場計画を各関係者と協議の準備を進める。	
二次評価者コメント	役職 日生総合支所長 氏名 金本 政廣 東備地区広域漁場整備事業負担金が平年並みに復活の見込み			平成20年度 予算の方向性 重点配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	2.0		
満足度(%)	1.3		



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 調査対象でない施策の場合は、市民の反応等
 水産業は本市にとって重要な地場産業であるにもかかわらず、重要度3.6位と非常に低い。理由は本事業が日生地区に集中し、かつ従事者が限定されるなど一般市民の関心が薄いためではないかと考えられる。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 東備地区広域漁場整備事業進捗率	目標	%	45.3	56.6			工期14~21年度 目標額265百万円
	実績	%	45.3	50.1			
	達成率	%	100.0	88.5			
2 放流魚種の漁獲量	目標	トン	70.0	70.0	75.0	80.0	ヨシエビ・ヒラメ・ガザミ・サワラ等
	実績	トン	69.0	60.0			
	達成率	%	98.6	85.7			
3 養殖カキの生産量	目標	トン	2,100.0	2,100.0	2,200.0	2,300.0	18年度岡山県生産量3,490トン
	実績	トン	1,807.0	1,945.0			
	達成率	%	86.0	92.6			
4 サンパースフェスティバル集客数	目標	人	12,000	12,000			
	実績	人	12,000	12,000			
	達成率	%	100.0	100.0			